



令和2年度学校評価アンケートの結果報告につて

日頃は、本校の教育にご理解ご支援をいただき、ありがとうございます。

さて、2学期末にご協力いただきました「学校評価アンケート」及び「児童アンケート」、「教職員アンケート」の集約結果を「令和2年度学校評価・学校自己評価一覧表」【別紙】として取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

また、集約結果を受けての考察、及び今後の取り組みの改善方法など以下のとおりまとめましたのでご覧ください。

①読書力の育成【児童:81.9%・保護者:64.2%・教職員:100%】

児童、保護者、教職員のアンケート結果に大きく差が見られます。また、残念ながら児童・保護者アンケートでは過去3年間で一番低い値となってしまいました。

今年では図書館活動も縮小せざるを得ない中、読書週間や読書手帳、週末の家庭読書の取り組みなどを進めてきました。今後も工夫を重ねながら、読書好きの子どもを増やしていきたいと感じています。

また、学校では読書の時間等で本を手にする機会がある子どもたちも、家庭では本を手にする機会が減ってきているようにも感じています。ご家庭でのご協力もよろしくお願ひいたします。

②家庭学習（宿題・自主学習）の充実【児童:93.2%・保護者:93.7%・教職員:100%】

児童、保護者、教職員共に過去3年間の最高値となりました。各ご家庭によるご協力のおかげだと思ひます。一方で一定数の子どもがそう思わないにチェックしていることが気になります。

学校では、主体的に家庭学習に取り組むことができるよう、家庭学習のやり方を指導したり、工夫しながら取り組んでいる自主学習ノートを紹介したりしながら進めています。

今後も一人ひとりに応じた家庭学習が進められるよう、丁寧な指導を継続していきたいと思ひます。引き続きご家庭での見守りをよろしくお願ひします。

③児童理解【児童:96.8%・保護者:95.0%・教職員:96.9%】

児童、保護者、教職員共に95%を超えています。しかし、教職員は過去3年間で高い値を示す一方、保護者は一番低い値を示しています。

今年は臨時休業から始まり、家庭訪問、学級懇談会等も充分に行うことができずでした。そんな中、担任と保護者とでお子さんのことについてじっくりとお話をさせていただく機会が少なかったことが原因の一つではないかと感じています。

今後も児童一人ひとりに寄り添った教育活動を進めていきたいと考えています。

④自己有用感の高揚【児童:88.6%・保護者:98.3%・教職員:96.9%】

今年は、児童会活動・委員会活動など子どもたちが主体となって活躍する場面が充分にできませんでした。授業においても、三密対策として教室の机の位置や向きに制限がある中、ペア・グループ活動を用いた学び合い学習が例年より少なくなっています。また、音楽や家庭、体育では、活動そのものに制限がありました。

そんな中、子どもたちはしっかりとがんばってくれていましたが、やはり達成感や有用感を感じる機会は今までより少なくなってしまうように感じています。

今後もコロナ禍はしばらく続くと思われまふ。その中で子どもたちが達成感を味わったり、自己有用感が高まったりするような活動を工夫していきたいと感じています。



⑤基礎体力・運動能力の向上 好き【児童:89.9% ・保護者:86.7% ・教職員:93.8%】

頑張る【児童:96.8% ・保護者:86.7%】

今年は体育の授業も制限があり、体育的行事も縮小・中止せざるを得ない状況でした。結果として教職員は充分なことができなかつたと感じています。

一方で児童や保護者は過去 3 年間で一番高い値となりました。制限がある中だからこそ、運動の楽しさや体力を身につけることの大切さに気付くことができたのかも知れません。

コロナ禍で、活動制限はまだまだ続くと思われまふ。創意工夫をしながら、体力向上を図りたいと考えています。



⑥安全意識の向上【児童:97.0% ・保護者:98.1% ・教職員:96.9%】

児童、保護者、教職員共に過去 3 年間の最高値となりました。いろいろな場面で、身の回りの安全について考え行動する機会が多かつた 1 年だったように思ひます。

また、本校は交通安全協会や羽津地区まちづくり推進協議会、PTA 安全部のご協力のもと、交通安全少年団を結成して、集団登校時の安全を図っていただひています。その一環として、登校時に登校班の班長、副班長は安全旗を持って、下級生の子どもたちが安全に横断できるよう、見守ってくれてひいます。この取り組みは、羽津地区ならではの取り組みです。この伝統はぜひこれからも受け継いでひいて欲しいと願ひています。



⑦地域の教材化【児童:94.3% ・保護者:78.9% ・教職員:100%】

本校区は自然環境に恵まれ、地場産業・公共施設なども充実し、そして地域の方々に支えられながら教育活動を進めてきてひいます。

今年も可能な範囲で、4～6 年生のクラブ活動（後期チャレンジ）や 3 年生の万古焼学習、2 年生の垂坂公園・羽津山緑地花壇の植苗など、地域の方々にお世話になりました。

加えて今年ひ、けやき委員会の皆様ひ、1・2 年生の遠足見守り、1 年生のどんぐり拾ひ支援、6 年生の竹明かり作りと様々な場面でご支援いただきました。

今後ひ保護者・地域と連携しながら教育活動の充実を図ってひきたいと思ひます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願ひします。



《アンケートの集約を終えて》

今回の集約結果を見てみると、新型コロナウイルス感染症対策で様々な制約があつた中、子どもたちは精一杯がんばってくれてひいたように感じまふ。

児童アンケートでは、18 項目のうち9 項目が過去 3 年間で一番高い値になつてひいます。中でも重点1「共に学び、確かな学力を獲得する授業の構築」では 7 項目中5 項目が一番高い値になつてひいます。

子どもたちが、安全で安心して過ごし、「学校は楽しい」と感じてもらえることこそ、何より学校が大切にすべきであると改めて感じてひいます。

保護者アンケートでは、11 項目のうち 8 項目が過去 3 年間で一番低い値となつてひしまいました。

今年一年、保護者の皆様ひ学校にお越しいただき、子どもたちが活躍する様子を見ていただく機会が充分に取れなかつたこと、保護者と教職員が直接お目にかかつて、お話をさせていただく機会を充分に取れなかつたことも、要因の一つであると感じてひいます。そんな中、保護者の皆様には学校教育活動にご理解ご協力をいただきました。改めて感謝いたします。

教職員のアンケートでは、重点項目 1 では 6 項目が 100%ですが、重点 4「教職員の資質・能力の向上」で全項目が過去 3 年間で一番低い値となりました。

今年一年、教職員は感染症対策と教育活動の両立に努めてきました。感染症予防に配慮しながらの授業づくりや生活指導、放課後の教室・廊下等の消毒作業など、毎日感染症対策を行ってきました。また、各種行事の見直しを図るなど、今まで以上の業務を遂行してきました。さらには、タブレットの導入など急激な ICT 化にも対応してきました。結果として働き方改革につながる勤務時間の縮減や、指導力向上のための研修が充分にできなかつたことがアンケート結果に表れてひいます。

感染症対策を行ひながらの教育活動は、令和 3 年度も続くと思ひます。今回の反省を踏まえ、感染症対策に努めながらも、可能な限りの工夫改善を行ひ、子どもたちが「学校に来るのが楽しい」と感じるように、学校教育活動を推進してひきたいと思ひます。貴重なご意見ありがとうございました。